SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

Vol.013　No.2607　創立 1960・3・24　ＲＩ第 2500 地区

2017-2018 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 イアン H.S. ライズリー

ロータリー
変化をもたらす

2017-2018 年度 士別ロータリー・スローガン
伝えたい、心の息吹を隣人に

■ＲＩ HP　https://www.rotary.org/ja
■2500 地区 HP　http://www.abashiri-rc.jp/2017/
■士別 RC HP　http://www.douhoku.jp/sibeturc/
■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日　12：10～13：10

■会　長／北　村　浩　史
■副会長／近　井　孝　義
■幹　事／谷　村　一　文
■事務所／士別グランドホテル（東３条６丁目）
TEL　0165-23-1234

第 2690 回例会　2017 年 10 月 23 日（月）
今日のプログラム：・普通例会・企業訪問

●前回（10 月 16 日）の記録／・普通例会

司　　会　千葉　道夫　会場監督
斉　　唱　我等の生業
本日の出席　会員 46 人中　出席者 36 名　出席率 78.26％　修正 86.96％
本日の欠席　江端健之、片庭隆暁、菊地昭通、近藤峯世、鈴木　勉、谷　温恵、千葉繁夫、深尾幸夫、藤吉敏博、加藤　博
メークアップ

ニコニコ BOX　谷村一文（ゴルフ同好会年間優勝）
大橋直幸（士別翔雲高校をささえる集い終了お礼）
國森和麿（10 月誕生祝い）
神田英一（体育協会 60 周年）

累計 96,000 円

●例会予定

◆ 10 月例会（職業奉仕月間・米山月間）

■１０月　２日 ㈪　普通例会、理事会
■１０月　９日 ㈪　休会（法定休日：体育の日）
■１０月１６日 ㈪　普通例会
■１０月２３日 ㈪　普通例会
■１０月３０日 ㈪　夜間例会

◆ 11 月例会（ロータリー財団月間）

■１１月　６日 ㈪　普通例会、理事会
■１１月１３日 ㈪　普通例会
■１１月２０日 ㈪　普通例会
■１１月２７日 ㈪　夜間例会

■会務報告・・・・・・・・・・・北村浩史　会長

■国際ロータリー第 2500 地区の 2017～2018 年度の網走地区大会が 10 月６日、７日行われました。会員数 2282 人対して登録人数は 1068 人で、登録率は 46．8% でした。士別から 20 人強の参加がありました。遠路からの出席となりましたが、ご苦労様でございました。私と谷村幹事は６日に入り、地区指導者育成セミナーに臨みました。小船井ポストガバナーの基調講演がありました。その中で 2015 年に盛り込まれました会員基盤の充実をはかるための柔軟性の導入について、少し触れてみたいと思います。ロータリークラブには標準となる定款というものありますが、この中で例外規定というのが打ち出されました。そのひとつ、従来は毎週決まった時間と場所で例会を行うとありましたが、これが例会の開催は最低月２回でよくなったこと、さらに時間や場所、曜日、開催方法も自由になりました。２つ目はこれまでは 100% 出席例会が目標でしたが、この出席規定が０ % でも「良し」となりました。活動参加型を重視したということですが、参加０ % でも「良いですよ」ということがどうにもよく理解できませんでした。ただ在籍しているだけでも会員として可能ということなのかもしれませんが、これはたぶん、「出席の義務感に縛られる必要はあまりないよ」というようなことかもしれないと思ったしだいです。３つ目は会員の種類の資格簡素化です。ロータリアンの子弟、配偶者などを含めた家族、元ロータリアンなど会員の源を多彩にしていこうということらしいです。合わせて会費の負担額も多い少ないの差を設けてもよいといった考え方です。組織というのは共通の目標を持った人々が、ひとつの方向にそって動いていく方が持続性が高いような気もしますが、今回のようなロータリアンの多方向への措置は組織運営という観点からはとても革新的だとは感じました。いずれにしてもその根幹にあるのは、会員数の維持増強なのは明らかだと思います。ロータリアンの一人としても、今後の方向性に関心を持って行きたいと思います

■地区大会では恒例の表彰が行われました。士別のクラブからは、RI から士別ロータリークラブが会員維持 100% で特別表彰として、ロータリー財団から織戸俊二会員がマルチブル・ポールハリス・フェローとして、米山記念奨学会から山口哲雄会員が米山功労者として、それぞれ表彰を受けました。お祝い申しあげます。

■本日、例会前にパスト会長会の役員会を開催しました。2018 年度～2019 年度のクラブ役員及び会長選出の件について指名委員会を設置しました。委員は織戸会員、大野会員、神田会員、それと私と谷村幹事の５人で構成いたします。

■幹事報告・・・・・・・・・・・谷村一文　幹事

１．１０月７日網走にて地区大会が開催され、無事終了いたしました。参加していただいた１９名の皆様大変お疲れ様でした。今回の参加者に対しましてはメークアップの対象といたします。

２．また地区大会の席上、当クラブが２０１６－１７年度第２５００地区内に於いて会員維持率１００パーセント達成の表彰を受けましたので合わせてご報告させていただきます。この後、北村会長より山口直前会長へ表彰状の授与をさせていただきます。

３．先週の１２日に士別市体育協会創立６０周年記念並びに財団法人設立３０周年記念式典・祝賀会があり当クラブより北村会長が出席して参りました

４．本日の例会前にパスト会長役員会を開催しました。パスト会長会の総会は来月の中旬を予定していますので該当会員の方は出席くださいますようお願い致します。

５．職業奉仕委員会の片庭委員長が本日欠席ですので来週の例会が士別市環境センターへの職場訪問であることを再度ご案内致しますので次週の例会も多数の参加をお願い致します。

■財団・米山奨学委員会・・・・泉谷　勇　委員長

会員の皆様には日頃より財団の慈愛活動にご協力を頂き大変ありがとうございます。毎月、ワンコインとして 500 円皆様に頂いており、結婚記念日として毎年 2,000 円の年額 7,500 円を貴重な財源を皆様より頂き、クラブの会計から 10,000 円にしてＲＩ財団に個人寄付として寄付をしております。1,000 ドル以上でポール・ハリス・フェローの認証になります。昨年度の段階で士別ＲＣの会員は約 86％がポール・ハリス・フェローの認証を受けています。この数字は非常に高い数字です。資料を見て頂いて分かるように第 2500 地区は全国で２番目に会員の人口密度が高い地域です。士別の会員数も人口密度からすると 2500 地区平均の２倍となっておりますので、非常に高い数字です。

米山記念奨学会への寄付については、第 2500 地区は全国で１番低いランクにいます。当クラブは会から年間、人数 ×2,000 円の寄付をすると共にその年の会長が米山に高額寄付をしておりますので、これも人口密度からしてみれば低い数字では無いと思います。また、資料の図３を見て頂ければ分かるように例会の出席率が高いのは第 2500 地区第 2 分区です。当クラブは全国でも優秀なクラブだと思います。

米山に寄付をしたいと思われる会員がおりましたら私までご連絡ください。また、自分の財団への寄付状況がどの様になっているか知りたい会員がおりましたら私までご連絡ください。

今後とも財団・米山の活動にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■会員増強拡大賞・会員維持 100%表彰

■10月の結婚記念日